

特集

脳卒中から

命を守るために

脳

卒中とは、脳の血管が詰まったり破れたりすることによって、脳が障がいを受ける病気の総称です。障がいを受けた脳の部位により症状は異なりますが、半身不随や言語障害など、何らかの後遺症が残ることが多く、死に至ることもあります。

かつて脳卒中は、日本人の死因の第1位を占めていました。近年は救急医療の充実や治療法の進歩により第4位に低下しましたが、今も三大疾病の一つとして、死因の上位を占めています。一命を取り留めたとしても、麻痺などの後遺症が残ることが多く、要支援や要介護となる原因の第2位は、脳卒中です。

また、新型コロナウイルスの感染により、脳卒中のリスクが高まるという調査・研究結果が発表されるなど、脳卒中は常に私たちの生命・健康を脅かしていると言えます。

今回は、脳卒中の中で最も大きな割合を占める「脳梗塞」を発症した森田さんの実体験から、脳卒中と本市の救急医療体制をご紹介します。



あの日、私をつないだもの

発症 9:50

森田亨さんの
あの日

川之江町にお住まいの森田亨さん。89歳になった今も、朝晩30分の散歩に加え、週に3回テニスを楽しむという健康体そのもの。だが、今年の5月13日午前9時50分、森田さんは自宅で倒れた。



もりた・とおる（川之江町）
36年間の教員生活後、学生時代に打ち込んだテニスを60歳から再開。少し痺れが残るという右手にラケットを握り、現在も元気にプレーする。

倒 したのは2階の洗面所でした。私は月・水・金曜日の午前中にテニスをしています。あの日もいつものように、テニスに行くために洗面所で準備をしているところでした。普段から血圧は高めで、妻

からは塩分を控えるよう度々言われていましたが、毎日欠かさず散歩をするなど、自分なりに健康には気を遣っていました。実際、これまで大きな病気を患うことなく過ごしてきましたので、自分が脳卒中で倒れるなんて、考えたこ

ともありませんでした。脳卒中の場合、呂律が回らなかつたり、名前が出てこなかったりという前兆があると聞きます。私の場合は目でした。倒れた日の2日前に、少し目が見づらいことがありました。ですが、それが脳卒中の前触れだとは思いませんでした。

倒れた私を見つけてくれたのは妻でした。洗面所から聞こえてきた「ドンツ」という大きな物音に、これはただ事じゃないと思ったそうです。妻が駆け付けた時、私は床に仰向けに倒れ、目はうつろで、妻からの問い掛けに答えるどころか、一言も声を発することができなかつたそうです。

「頭を打っているから動かないで」と妻は私に言いましたが、私はうつろな表情のまま、自分で起き上がろうとしたそうです。慌てて妻が私をソファに座らせましたが、その時私の右半身がうまく動いていないことに気付いたようです。

妻は、仕事に行っていた娘に電話をかけ、私を病院に連れて行って欲しいと頼みしました。妻は3年前に免許証を返納していたため、車の運転が

できなかつたのです。しかし妻から私の様子を聞いた娘は、すぐに救急車を呼ぶように言いました。

妻が119番通報よりも先に娘に電話をしたのは、タクシー代わりに救急車が使われることが問題になっていて、むやみに呼んではいけないと思ったからです。

一方、娘は友人がくも膜下出血で倒れたことを思い出し、とにかく急いで治療してもらわなければと考えたそうです。

そして娘さんからアドバースを受けた妻の瑞子さんは、119番通報する。時刻は午前9時58分。発症から8分後のことだった。



写真左から 瑞子さん 亨さん 娘の山本淑子さん

搬送

発症から 40分

江口孝志 東分署長の あの日

瑞子さんから「夫が自宅で倒れ動けなくなっている」「意識はあるが様子がおかしい」「右半身に麻痺がある」という通報を受けた市消防本部通信指令室は、緊急性が高い事案であると判断。西分署（土居）救急隊と東分署（川之江）消防隊に「PA連携出動」の指令を出した。時刻は午前10時2分、発症から12分後のことだった――

治療

発症から 3時間 34分

岡本薫学 医師の あの日

救急隊員からのホットラインを受け、HITO病院「心・脳血管疾患センター」では、岡本薫学医師を始めとする脳卒中専門チームの業務用SNSに、森田さんの情報が送られていた。時刻は午前10時9分。発症から19分後のことだった――

指

令を受け東分署からは、救急救命士の私を含む4人の消防隊員が、消防ポンプ車で出動しました。あの日、本署と東分署の救急車が別の事案で出動していました。そのため、現場に一番近い東分署の我々

に、西分署から救急車が到着するまでの救急救命活動と、到着した救急隊員への支援が命じられたのです。

本署のように、傷病者に早急な救急活動が必要な場合に、救急車（Ambulance）に加え消防ポンプ車（Pumper）



えぐち・たかし
1985年入庁
2000年救急救命士拝命
各署で救急係に従事した後
2021年4月から東分署長

が出動し、連携して救急活動をすることを、PA連携出動といいます。

通信指令室からの「意識はあるが言葉が出ない」「右半身に麻痺がある」という情報から、真っ先に脳卒中を疑いました。現場に向かう車内では、脳卒中であることを想定し、症状の確認方法や処置方法について、隊員たちと確認していました。

現場に到着したのは午前10時7分でした。ご家族に支えられた状態で、自宅2階のソファに座っていた森田さんに、意識レベルの確認、血圧や血液の中の酸素量の測定、瞳孔の観察を実施しました。そして通報にあった、言葉が出ないことや右半身に麻痺があることなど、脳卒中を疑う症状を確認しました。

一刻も早く、脳卒中に対応できる病院へ森田さんを搬送する必要があります。しかし、救急車が到着するまでにはもう少し時間が掛かります。そこで私は、こちらに向かっている救急隊員に連絡を取り「脳卒中ホットライン」を使用するよう伝えました。

脳卒中ホットラインとは、HITO病院にある「心・脳



ホットラインをした西分署の山ノ内消防司令

血管疾患センター」に繋がる救急隊専用の直通回線です。心・脳血管疾患センターは、24時間365日体制で、脳卒中患者の受け入れと診療ができる「一次脳卒中センター」です。

救急隊員が心・脳血管疾患センターに森田さんの症状を伝えたところ、直ちに受け入れ体制が整えられることになりました。

午前10時25分、現場に到着した救急隊員に森田さんの観察状況を説明。消防隊員と救急隊員とが協力して、自宅2階から担架で森田さんを搬送し、救急車に収容しました。

――森田さんに乗せた救急車がHITO病院に向かったのは、午前10時30分。発症から40分後のことだった。



おかもと・しげたか
2019年HITO病院入職
心・脳血管疾患センター
脳血管責任者
脳血管内治療科（院内組織）部長

脳 卒中の中でも脳梗塞は時間との闘いです。当センターでは、患者さんが到着してから60分以内に治療を始めることを目標にしています。あの日も、各自が業務用SNSに送られてきた情報を確認し、誰かの指示を待つことなく、森田さ

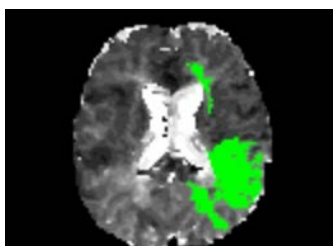
んを受け入れるための準備に取り掛かりました。看護師は体重測定ができるストレッチャーや点滴、採血などの準備を、放射線技師はCTやMRIの準備を、臨床工学技士は血管内治療（カテーテル治療）に備えて血管造影室の準備を始めました。

午前10時39分。森田さんに乗せた救急車が到着しました。運ばれてきた森田さんは、意識はあるものの言葉はなく、私たちの呼びかけが理解できていないようでした。この状態は「失語症」と呼ばれ、主に脳卒中などで、脳の中で言葉の理解や表現をつかさどる「言語野」の血管が詰まったり、破れたりした時に起こります。

到着から15分後にCTを、その10分後にMRIを撮りました。その結果から、森田さんの脳に血栓があることが分かりました。脳梗塞です。やはり場所は言語野でした。

脳梗塞（超急性期）の治療方法は主に2つです。点滴により血栓を溶かす「t-PA療法」と、カテーテルという細い管を血管内に入れて血栓を回収する「カテーテル治療」です。t-PA療法は「最後に元気であった時間」から4・5時間以内でなければ使用できません。カテーテル治療もまた、発症から24時間以内という制約があります。これが脳梗塞が「時間との闘い」と言われる理由です。

脳の血管が詰まると、脳に栄養が送られなくなり、次第



森田さんのMRI画像。血栓により緑色の箇所（言語野）の血流が悪くなっていた

に脳細胞が死滅していきます。死んだ脳細胞は二度と元には戻りません。当センターを開設し、救急隊員との間にホットラインを作ったのは、救急隊員が受け入れ先を探す時間や院内スタッフの準備時間を短縮し、少しでも早く患者さんの治療を始めたかったからです。

森田さんの場合、既往歴や身体所見、CTとMRIの結果、そして発症からの時間を総合的に判断し、t-PA療法とカテーテル治療の両方を行うことにしました。

全ての治療が終わったのは午後1時24分でした。治療が終わった後、私たちはまず、患者さんに名前を尋ねます。私たちの問いかけに対し森田さんは、まだ話しづらさはあるものの「もりととおるです」と答えてくれました。

脳からの警告!

命を守るキーワードは

FAST

F「かお」をチェック!
Face



顔の片側だけが
不自然に下がっていませんか?
鏡を見たり周りの人に見てもらった
りして確認しましょう

A「うで」をチェック!
Arm



両手をまっすぐ胸の高さまで上げ
その状態をキープできますか?
目を閉じて5秒間数えてみましょう

S「ことば」をチェック!
Speech



言葉が出てこなかったり
呂律が回っていなかったり
しませんか?

短い言葉を何度か言ってみましょう

一つでも
当てはまったら

T迷わず119番
Time



症状に気づいた時間を
伝えましょう

そ

の後、森田さんは薬
による脳梗塞治療と
並行してリハビリを
行い、入院からわずか8日
後の5月21日に無事退院しま
した。そして現在では、ほぼ
発症前と同じ生活を続けるこ
とができています。
しかし、心・脳血管疾患セ
ンターの岡本医師は、脳卒中
で運ばれてきた方のうち、森

田さんのように従前の状態ま
で回復できるケースは、全体
の3割ぐらいたと言います。
7割の方は障がいなど何らか
の後遺症が残ったり、亡くな
ることもあるそうです。
脳卒中は、治療の遅れが命
に関わります。命を守り、後
遺症を残さないためにも、一
刻も早く受診し、治療を受け
ることが大切です。

脳卒中には「FAST」と
いう早期発見のキーワードが
あります。脳卒中の代表的な
症状である

Face 顔の麻痺
Arm 腕の麻痺
Speech 言語障害

Time 時間

の頭文字を合わせて、英語で
「早く」を意味する「Fast」
に掛けたものです。これらの
症状のうち、一つでも見られ
た場合は、迷わず119番通
報しましょう。脳卒中の兆候
である可能性が高いです。

また、これらの症状が現れ
てすぐに治まることはありません。
これは一時的に脳の血管
が詰まって脳梗塞状態が生じ
る「一過性脳虚血発作」と呼
ばれる現象で、本格的な脳卒
中が起る前の警告サインだ
と言われています。症状が治
まったからといって安心せ
ず、速やかに病院を受診しま
しょう。

問い合わせ先
地域医療に関すること
医療対策課 28・6157
救急搬送に関すること
警防課 28・6933